

# よかところ通信



2009年5月・田植号

O2Farm【オーツーフーム】 大津耕太&愛梨  
〒869-1501 熊本県阿蘇郡南阿蘇村両併 587  
Tel&Fax : 0967-62-3730  
E-mail: [o2farm@aso.ne.jp](mailto:o2farm@aso.ne.jp)  
O2FarmWeb : [www.aso.ne.jp/reisi](http://www.aso.ne.jp/reisi)  
バックナンバーID = o2farm

新緑の美しい田植えの季節。皆さまはいかがお過ごしでしょうか。南阿蘇では田植えが着々とすすみ、農村らしい風景が広がっています。やっぱり田んぼには水が入っていないと！

田植えの直前に、ハウスの中で育った苗を田んぼに運びます。一応立派な苗ができて、ひとまず安心。「苗半作」と昔から言われており、種まきから約2週間、緊張の日々が続いていました。雑菌を殺すため、普通の農家は苗箱に入れる土に殺菌剤を混ぜるのですが、それをしない分、苗に病気が出ないか、発芽や生育にムラがないかなど、心配がつきないのです。ハウスが小さいので、1回に並べられる苗は約300箱。運び出した後、すぐにもう一度種まきをします。またまた緊張の2週間。今月の精米日が終わったら、次の田植えが待っています。



お父さんがせっせと苗箱を運んでいる間、子供たちもせっせとカエルを追いかけたり、水路でタニシを見つけたり。そしておしっこがしたくなれば畦で立ちション。二人並んでする姿がおかしくて...

そしていよいよ田植え。さっそうと田植え機に乗り込むコータとおまけ×2。彼らは飽きもせず田植え機に乗っているのです。畦で食べるお昼ご飯のおいしいこと！讚太郎まで乗りたいと言い出したら大変だなあ。



機械で植えた後に、「めうえ」と呼ばれる補植をするのと、使った苗箱を洗うのは私エリの仕事。機械の性能も、そしてコータの腕前も良くなっているので、植えそびれは少ないのですが、それでも小さい苗が溺れてしまっていたり、真四角ではない田んぼなので植えにくい箇所があったり、機械の出入口だったり、などなど。手で植えるところもそれなりにあるのです。

私がめうえをしている間は、コータが子守り。最近忙しくてあまりお父さんに遊んでもらえていない子供たちは大喜び。そして休みなく働いているコータにとっても、少しは息抜きになったようで良かった！

この時期は、水争いの季節でもあります。「我田引水」という言葉通り、みんな自分の田んぼに水を引きたいのです。昔は血を見る争いもあったとか。普段は仲良しのご近所も、このときばかりはライバル。いつのまにか我が家の田んぼの堰がとめられていたりするので。水も限りある資源なので、足りないと奪い合いが起こるもの。なんだかいろんなことに、当てはまる話ではありませんか！



そうそう、そしてこの時期は田んぼバレーの季節でもあります！今年もやりました。名付けて「田んぼ09～サムライ・ジャッパーン」。快晴の当日。大分や鹿児島など遠方からの参加も含む24人の選手が参加して、熱戦を繰り広げました。この日ばかりは大人も子供もありません。むしろ子供のほうが呆れていたような…。躊躇せずに飛び込んで泥まみれになる大人たち。これ、一度やったら病みつきなんです(笑)。本気で遊ぶっていうのは最高ですね。すっかり恒例のイベントになっていますので、皆さまも来年はぜひご参加下さい。夜の表彰式&交流会では、あか牛ハヤシライスに舌鼓をうちながら、選手として参加したカメラマンさんが撮ってくれた大会の様をスライドショーで鑑賞(この写真も彼の作品。ステキですね)。珍プレー・好プレーの数々を楽しみながらの宴会でした。



まだニュースは続きます。今年の戦士・コイたちが到着しました。田植え後、苗が根付いてすぐにコイを入れます。田んぼに入れてしばらくは畦際でバチャバチャ。それから順々に田んぼの中に消えていきました。彼らが泳ぐことで水が濁り、雑草が生えてくるのも防いでくれるんです。一番の敵はサギ。捕まえられないようにしっかり泳いでね！



日が長くなり、明るいうちは作業を続けるコータ。そんな彼が、田んぼに映るとっておきの夕焼け

をカメラに収めてきました。あんまりきれいなので、今回はこの写真でお別れです。皆さまどうぞお元気で。

